

地域密着型金融推進の取組みについて

(平成26年4月～平成27年3月)

中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

中期経営計画「アクション to チャレンジ」 ～福井銀行は地域との共存・共栄に努め、お客さまとの絆を深めます～

福井銀行では、平成24年4月から平成27年3月までの3年間について、中期経営計画「アクション to チャレンジ」に基づいて、「地域密着型金融の実践」に取り組んでまいりました。

【中期経営計画「アクション to チャレンジ」（平成24年4月～平成27年3月）の概要】

■中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

この中期経営計画では、「地域密着型金融の実践」を大きな柱として位置付けており、3年間の中期経営計画を通して「地域密着型金融の実践」をさらに強化してまいります。

■中期経営計画の概要（グランドデザイン）

地域金融機関としての存在意義を見つめなおし、福井銀行の10年後のあるべき姿として「グランドデザイン」を掲げました。この「グランドデザイン」では、法人・個人のお客さまに隔たりなく、『地域のお客さまのライフステージに応じて、常にご満足いただける解決策を提供する』ことを「10年後のあるべき姿」とし、これが達成されれば、「お客さまが『そばにいてほしい』と思う日本一の銀行」になっているとの思いを込めています。

目次

本誌では、中期経営計画「アクション to チャレンジ」および地域密着型金融推進の取組み方針に基づいて活動した内容についてご紹介いたします。

- ❖ 法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 地域の面的再生への積極的な参画
- ❖ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

平成27年6月



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行

法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

創業・新規事業開拓支援への取組み

方針

- ・お客さまとのコミュニケーション強化により、事業ニーズを的確に把握し、最適なソリューションをご提案します。
- ・常に安心・満足してご相談いただけるサービス機能の提供、人材の育成に取り組めます。
- ・多種多様なニーズにお応えするため、地元支援機関や外部機関との連携を強化します。

◆「ふるさと企業育成ファンド」の活用促進

平成23年9月に福井県および県内7金融機関により創設された同ファンド（ファンド総額：100億円、うち当行45億円を無利息貸付）では、「新分野展開スタートアップ支援事業として、経営の多角化や事業転換を図り、新分野への事業展開を行う企業へ助成を行っております。

助成制度の運営母体である公益財団法人ふくい産業支援センター及び福井県内の支援機関（商工会議所・商工会）と連携し、お客さまの事業計画策定支援・申請手続き支援に取り組ましました。

平成26年度採択事業者	11社
うち当行経由による採択事業者	5社

※平成25年度実績
採択事業者：10社
うち当行経由で採択された事業者：5社

◆経営革新等支援機関としての取組み

経営革新等支援機関として、お客さまの事業計画策定・各種補助金申請手続きのサポートに取り組みました。

- ・創業補助金（創業促進補助金）
～平成25年度補正予算事業～

福井県内採択事業者	20社
うち当行サポートによる事業者	6社

- ・ものづくり・商業・サービス補助金
～平成25年度補正予算事業～

福井県内採択事業者	176社
うち当行サポートによる事業者	53社

成長支援への取組み

方針

- ・ビジネスマッチング活動を通じて、お客さまの新たなビジネスチャンスを生み出します。
- ・新たな金融サービス機能の開発により、多様な資金調達方法を提供します。
- ・海外展開や医療・農業などの専門性が高いニーズに対応できる人材を育成します。

◆ビジネス商談会の開催・参加

ビジネス商談会を開催し、お客さまの新たなビジネスチャンスの獲得支援に取り組んでいます。

- ・第11回東海三行ビジネス商談会
(平成26年9月 名古屋開催)
参加企業数：666社（うち当行お取引先：32社）
商談件数：1,503件
- ・第5回ネットワーク商談会 IN 大阪
(平成26年10月 大阪開催)
参加企業数：79社（うち当行お取引先：10社）
商談件数：476件

- ・地方銀行フードセレクション2014
(平成26年11月 千葉開催)
参加企業数：551社（うち当行お取引先：9社）
商談件数：523件
- ・三越伊勢丹バイヤーミーティング
(平成26年11月 福井開催)
参加企業数：31社
国内最大手の百貨店である三越伊勢丹百貨店のバイヤーを福井に招いて、商品価値の向上を目的としたセミナー、及びバイヤーとの個別商談会を開催しました。

◆ビジネスマッチングへの取組み

当行のネットワークを最大限に活用し、お客さまへ最適なビジネスパートナーを紹介しました。

当行マッチング情報の登録件数	311件
うち商談に至った件数	31件

(平成26年度実績)



◆海外進出支援への取組み

＜バンコク駐在員事務所の開設＞

お客さまのASEAN（アセアン）地域への事業展開をより積極的に支援していくため、平成26年11月にASEAN主要国であるタイ王国の首都バンコクに駐在員事務所を開設しました。

また、駐在員事務所内に、福井県と共同で「ふくいバンコクビジネスサポートセンター」を開設しました。

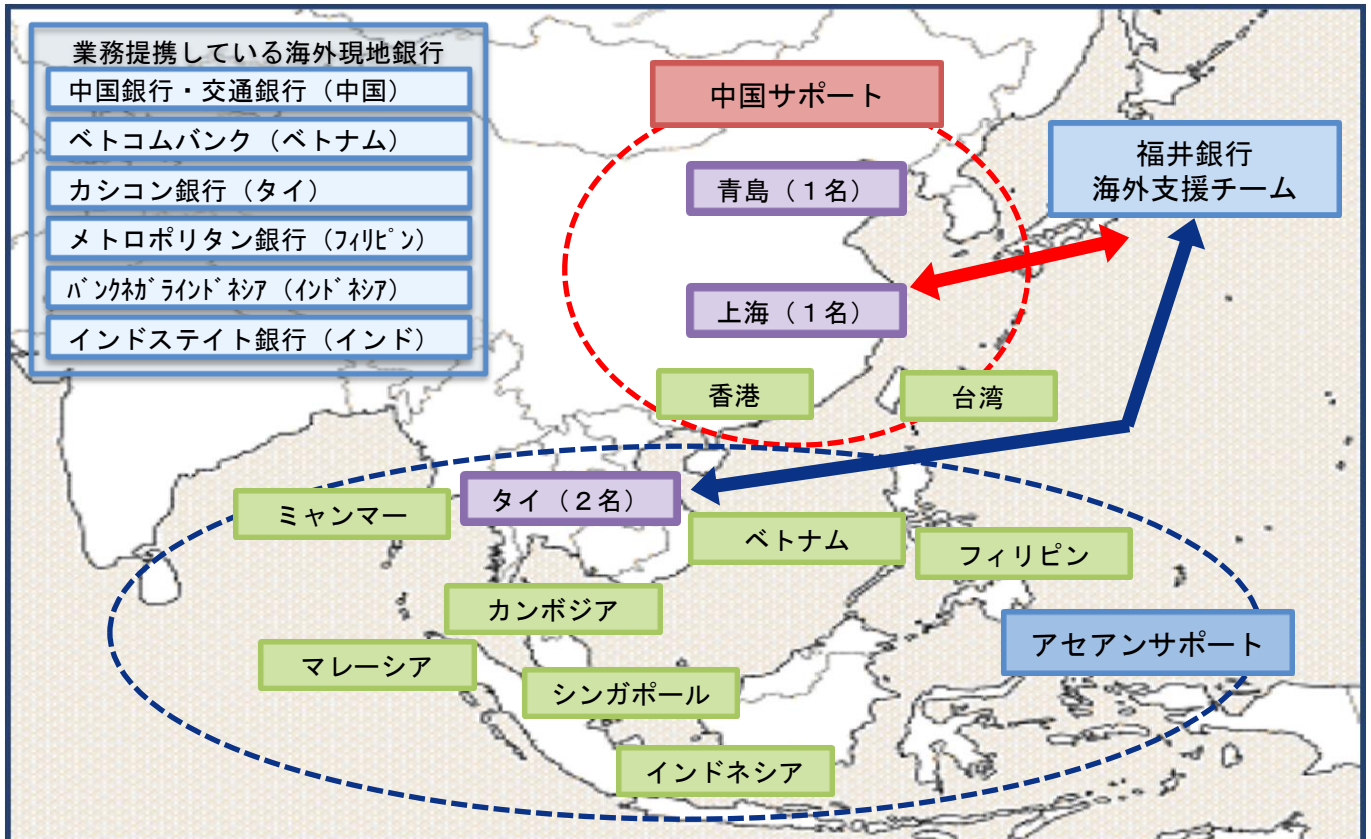


＜海外銀行との業務提携＞

- ・交通銀行（中国）との業務提携
(平成26年10月提携)

交通銀行との業務提携によりアジア圏では7行の地元銀行との業務提携に至りました。今後も業務提携を通じて、現地情報の提供に努めていきます。

＜海外への行員派遣・現地銀行との連携状況＞



(平成27年3月末時点)

＜セミナー・個別相談会開催＞

地元支援機関等と協力し、セミナーや個別相談会を開催し、海外情報の提供に努めました。

- ・海外展開セミナーin福井
独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部主催
(平成26年11月、平成27年1月開催)
- ・中国ビジネス個別相談会
当行主催、相談員：株式会社マイツ
(平成26年8月開催)

＜商談会＞

- ・FBC上海2014（日中ものづくり商談会）
(平成26年9月 上海開催)
参加企業数：550社（うち当行お取引先：11社）
商談件数：16,000件
- ・ものづくり商談会@バンコク2014
(平成26年6月 バンコク開催)
参加企業数：150社（うち当行お取引先：8社）
商談件数：2,340件

＜本部行員の帯同訪問等による支援態勢強化＞

専門知識を持った本部行員が帯同訪問し、海外情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取組みました。

- ・海外支援チームによる支援件数：711件
(平成26年度実績)

事業承継支援への取組み

方針

- ・お客さまのニーズを的確に把握し、事業承継計画の策定・実践支援に取り組めます。
- ・本部専門部署の機能強化により、営業店と一体となってお客さまの計画をご支援します。
- ・外部専門機関との連携強化により、さまざまな角度からの情報提供に取り組めます。

◆セミナーの開催

地元支援機関等と協力して医療・介護関係者を対象に全4回に亘ってセミナーを開催し、事業承継等に対する情報提供に取り組みました。

・医療経営セミナー

当行・一般社団法人福井県医師会主催
(平成26年6月、8月、10月、12月)

◆本部分行員の帯同訪問等による支援態勢強化

専門知識を持った本部分行員が帯同訪問し、事業承継・M&A情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組みました。

・本部分行チームによる支援件数：89件
(平成26年度実績)

◆次世代経営塾の開講

平成25年度に引き続いて、「第4期 福銀 次世代経営塾」を開講しました。

本経営塾は自社経営のさらなる発展をめざす次世代経営者の育成を目的としており、外部コンサルタントや県内地元講師と提携し、平成26年度は全9回に亘って講義やグループ討議を行いました。

・「第4期 福銀 次世代経営塾」受講者 29名



経営改善、事業再生・業種転換等支援への取組み

方針

- ・お客さまの経営課題について、財務面・事業面から分析・把握する支援を行います。
- ・お客さまの状況に応じ課題解決のための、最適なソリューションの提案を行います。
- ・ソリューション提案後も訪問活動を通じて、経営改善・事業再生をご支援します。

◆経営改善への取組状況

中小企業再生支援協議会との連携のほか、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業を活用して、お客さまの経営改善支援・事業再生支援に取り組んでいます。

・中小企業再生支援協議会

再生計画策定先（2次対応完了）	27件
うちメイン行としての案件持込み数	7件
現在進行中の案件（3月末現在）	8件

(平成26年度実績)

・認定支援機関による経営改善計画策定支援事業

利用申請済み先	25件
---------	-----

(平成26年度実績)

◆経営相談会の開催

地元支援機関と連携して経営相談会を開催し、お客さまの抱える問題の解決に努めました。

・移動経営相談会

相談員：公益財団法人ふくい産業支援センター
会場：松岡支店・鯖江支店・三国支店・春江支店
(平成27年1月・2月開催)

◆企業再生ファンドの設立

平成25年3月末の中小企業金融円滑化法の終了を踏まえ、県内の地元金融機関と連携し、平成25年2月15日に企業再生ファンドを設立しました。

県内の地元金融機関が連携して本ファンドを活用することで、抜本的な財務体質の改善や事業再生支援を必要としているお客さまに対して、さらなる支援強化と地域経済の活性化に取り組んでいきます。

ファンド名称：福井県ふるさと企業再生ファンド
連携金融機関：福井県内の地元7金融機関

個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

方針

- ・お客さまのニーズを把握し、安心して選んでいただけるサービス・商品を提供します。
- ・お客さまが安心してご相談いただける人材を育成します。
- ・お客さまにご満足していただける分かりやすい説明を心掛けます。

◆タブレット端末の導入

平成26年7月より全営業店にタブレット端末を導入しました（全320台）。

タブレット端末を活用することで、渉外先でもインターネットや行内情報の参照が可能となり、お客さまに最新のマーケット情報の提供や投資信託等の提案ツールを利用した提案が可能となります。

◆セミナーの開催

お客さまのライフステージに応じたセミナーを開催し、各種情報の提供を行いました。

・ふくぎん フレッシュヤーズセミナー

平成26年4月に新社会人となった方を対象として、「ふくぎん フレッシュヤーズセミナー2014」を開催しました。

お取引先企業の早期人材育成ニーズにお応えるため、平成24年度より開催しています。

3回目の開催となる平成26年度は、114社682名の新社会人の方々が参加しました。



・資産運用セミナー

多様化するお客さまの資産運用ニーズにお応えるため、情報提供の場としてテレビ会議システムを利用し、「お客さまセミナー」を開催しました。

(平成26年度7回開催)

◆ローン等相談拠点の充実

・ナチュラプラザ福井

休日にも営業している、ローン・資産運用・保険の相談拠点です。

保険のご相談については、保険の専門スタッフがお客さまのライフプラン（生涯設計）をもとに必要な保障額を算出し、お一人おひとりに最適なアドバイスをご提供します。

・ふくぎん 休日相談会 ベル

毎週日曜日に営業している、ローン・資産運用の相談拠点です。

上記以外にも、県内5・県外3の営業店で休日相談会を開催しております。

◆キャンペーンの実施と新商品の取扱開始

<キャンペーンの実施>

・ふくふくキャンペーン

夏：平成26年6月～8月

冬：平成26年11月～平成27年1月

春：平成27年3月～5月

計3回実施

・インターネット投資信託・インターネット外貨預金 キャンペーン

(平成26年6月～9月実施)

・住宅ローンお借換えキャンペーン

(平成26年6月～9月実施)

(平成26年12月～平成27年3月実施)

・マイカーローンキャンペーン

(平成26年8月～10月実施)

(平成27年1月～4月実施)

・リフォームローンキャンペーン

(平成26年8月～平成27年3月実施)

・教育ローンキャンペーン

(平成26年11月～平成27年4月実施)

<新商品・新サービスの取扱開始>

・JCBブランド個人向けプラチナカード

(平成26年4月より取扱開始)

・インターネット外貨両替申込

(平成25年4月より取扱開始)

・新型フリーローン

(平成26年8月より取扱開始)

・返済口座不要型カードローン

(平成26年11月より取扱開始)

・無担保住宅ローン

(平成26年12月より取扱開始)

・みんなで応援★定期預金

(取扱期間：平成26年4月～6月)

・森もり定期預金

(取扱期間：平成26年11月～12月)



地域の面的再生への積極的な参画

方針

- ・ 地域経済のシンクタンクの役割を担うべく、情報の収集・蓄積・発信を行います。
- ・ 地域の産業調査による面的再生に向けた情報支援を行います。
- ・ 新たなビジネスチャンスへの提言を行います。
- ・ 金融経済教育の提供や企業見学の受け入れにより金融知識の普及・啓蒙に取り組めます。

◆福銀6次産業化ファンドの設立

農林漁業の6次産業化に取り組むお客さまを積極的に支援するため、北陸3県内の地方銀行では初となる「福銀6次産業化ファンド」を設立しました。

北陸における1次産業事業者と2次・3次産業事業者との連携による新たな事業機会の創出・付加価値創造を目的としており、6次産業化事業体への投資を中心とした資金提供や、国内外への販路拡大支援等により、お客さまの成長戦略を後押ししていきます。

(平成26年9月30日設立)

<福銀6次化ファンドの概要>

ファンド総額	10億円
ファンド運営管理会社	福銀ビジネスサービス株式会社 (当行グループ会社)
ファンド存続期間	15年(事業体への投資期間は最長10年間)
主な支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出資を中心とした資金提供支援 ・ 事業計画の策定支援 ・ 事業運営の助言等、中長期的な経営支援 ・ マッチング支援

◆地域のシンクタンクとしての取組み

地域のシンクタンクとしての役割を果たすべく、地域の経済情報をまとめた「福井県景況レポート」を毎月作成し、地域団体への景況講演を通じて情報発信に努めています。

◆産学官連携に向けた取組み

地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域の活性化実現に向けて積極的に取り組んでいます。

・ 地元大学との包括協定締結

産学官連携を推進するため、福井大学、福井工業大学、福井県立大学と包括協定を締結し、各種の情報交換を行うとともに、研究シーズと企業とのマッチング実現に努めています。

・ 福井大学への行員派遣

福井大学と当行のパイプ役として行員1名を福井大学のURAオフィスに派遣しています。

◆地域活性化に向けた自治体との協働

<クラウドファンディング事業の運営協力>

当行グループ会社である福井ネット株式会社を通じて、鯖江市が平成26年12月に運営を開始したクラウドファンディング事業「FAAVOさばえ」の運営に協力しています。

本事業は、インターネットを通じて、鯖江市や鯖江市内に拠点を置く企業、団体、個人が取り組む事業を全国にPRし、趣旨に賛同した人に資金提供してもらう事業です。



<包括的地域連携に関する協定の締結>

越前市と地域活性化などを目的とした「包括的地域連携に関する協定」を締結しました。

本協定は、「ひとつづくり、ものづくり、まちづくり」の分野で長期的視点に立ち、相互の資源の有効活用と、綿密な協働的活動を通して、地域の課題解決を図っていくものです。

(平成27年2月20日締結)



◆地元産業活性化に向けた取組み

平成24年度より、大阪府および財団法人大阪産業振興機構が運営する「ものづくりB2Bネットワーク」に参加しています。

本ネットワークは大阪府等と金融機関が連携し、国内外からの製造業に関する「引き合い」に対応できる「元気なものづくり企業」を探索し紹介する取組を実施しています。

本ネットワークへの参加を通して、当行とお取引のある製造業のお客さまに有益な情報を提供していきます。

◆公益財団法人福井銀行教育福祉財団
による寄附事業

公益財団法人福井銀行教育福祉財団は、当行の役員で構成していた「保善会」という任意団体が設立母体となって設立した法人が、平成25年10月に名称変更した公益財団法人です。

教育の振興および福祉の向上に寄与することを目的として、毎年春と秋に福井県内の学校教育関係団体や社会福祉関係団体等に対して寄附事業を実施しています。

平成26年度は、計25団体に総額520万円を寄贈しました。

◆金融知識の普及・啓蒙

教育機関への講師派遣による金融経済講座の開催や、職場見学・啓蒙を通して、地域の明日を担う人材の育成のお手伝いに取り組んでいます。

・金融経済教育講座、職場見学の受入れ実績

小・中学生	17校 (19回)	350名 が参加
高校生	20校 (29回)	2,069名 が参加
大学生	3校 (10回)	577名 が参加



地域や利用者に対する積極的な情報発信

方針

- ・地域密着型金融の取組み状況について、積極的かつ具体的に情報発信します。
- ・地域のお客さまへ福井銀行が有する情報、ノウハウを積極的に発信します。

◆地域密着型金融の取組み状況の
積極的な情報発信

「福銀ビジネス倶楽部」を開催し、地域のお客さまに対して、当行の地域密着型金融の取組み状況について広く情報発信を行っています。

(平成26年7月・平成27年3月)



◆ホームページの充実

ホームページで地域密着型金融の取組み方針をはじめ、取組み状況等の情報を掲載しています。

今後も、分かりやすく、使いやすいホームページになるよう努力していきます。

◆福銀ジャーナルの発刊

平成26年10月より、福井県内の経済や産業に関わる情報やトピックス、統計資料などを盛り込んだ「福銀ジャーナル」の発刊を始めました。

◆ミニディスクロージャー誌の発刊

当行の業績や取組み内容を掲載したミニディスクロージャー誌を発刊しています。

◆福井銀行が有する情報、ノウハウの
積極的な発信

・インターンシップの開催
インターンシップを14回開催し、計274名の学生の方々にご参加いただきました。

・マナー・顧客満足度向上セミナーの開催
マナー向上・顧客満足度向上に向けたセミナーを18回開催し、16先計611名のお取引企業の社員の方々にご参加いただきました。

